

「令和 6 年度 学校自己評価について」

学校法人 向洋学園
宮崎ビジネス公務員専門学校
校長 明利 和代

専修学校の学校評価につきましては、平成 19 年に学校教育法、及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられました。

それに伴い、本校では、従来から実施しております授業アンケートのみならず、学校自己評価に取り組み自己点検を行うことで、教育水準の向上と質の保証に更に努めるよう工夫致しております。

ここに、令和 6 年度の本評価結果を公表いたします。今後、評価を充分に加味、検討しながら、より良い教育の場であることを目指し、改善を進めて参ります。

1. 学校理念

入学者一人ひとりが持つ夢を
専門知識と情熱をもって共に実現し
自ら積極的に考え社会貢献できる学生を育成する

2. 宮崎ビジネス公務員専門学校校訓

誠 実 ・ 勤 勉 ・ 奉 仕

3. 学校の教育目標

1. 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 学生に社会的視野を獲得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に学生の知見を深める教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での実践的な体験の場を設ける。

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 学生の個性を尊重した学習方法を研究し、お互いを高め合う学習の場を学生に提供する。
2. 学生たちが自己の明確な将来像を描き、目標を達成するまで向上心を持ち続け、安心して主体的な学びに取り組める教育環境を築く。
3. 地域で承認される学校、学生となるよう、自ら積極的に行動し社会に貢献していくための情報提供や実践の機会をつくる。

５．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念目的・人材育成型

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的が設定されている	A
②	学校の教育理念・目的が周知徹底されているまたは、明文化している	A
③	学校が目指す人材育成型が設定されている	A
④	学校が目指す人材育成型が周知徹底されている、または、明文化している	A
⑤	各学校の目的にあわせた特色が実践している教育に現れている	A
⑥	時代のニーズに合わせ、理念・目的・育成型の再考システムが構築されているか	A
【課題】 ・大きな問題点はないが、時代の変化を常に意識しながら理念や目的等について考えていかなければならない。		
【今後の改善方策】 ・教職員間の情報共有を積極的に行いながら、社会の変化に対応した指導の在り方を目指していく。		

（２）学校運営・・・諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校運営の方針が明確に明示されているか	A
②	学校運営方針に沿った各種規定が整備されているか	A
③	学校の意思決定機関が効率的なものであるか	B
④	人材の活用と適切な待遇への整備がされているか	B
⑤	学生及び職員の個人情報について、個人情報保護法を遵守しているか	A
⑥	災害や人災に対し、防犯や予防の対策が制定され、実施しているか	B
【課題】 ・③④については、個人間で評価にばらつきが見られる。運営方針との乖離はないか適切な人材活用が行えているかなどの再確認が必要である。 ・⑥については安全面を考慮するとA評価が当然の結果であるため不十分な点の改善を行っていかなければならない。		
【今後の改善方策】 ・③④については、不十分な点や再検討が必要な点を確認の上、運営側への報告や可能な限りの改善・説明を実施する。また、職務について特定の職員だけに負担がいかないよう、職員全体のスキルアップを行っていく。 ・⑥については、危機管理マニュアルを活用し、想定される災害等に対する対応について定期的な確認の場を設ける。		

(3) 教育活動・・・理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、
キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価・単位認定、資格試験、教職員

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的・目指す人材像を達成する為のカリキュラムが組まれているか。	A
②	学生の実態に合わせ、定期的カリキュラムの見直しが行われているか	A
③	キャリア教育の視点にたったカリキュラムが組まれているか	A
④	関連分野に於ける実践的な職業教育（インターンシップや実習）が体系的に位置づけられているか	A
⑤	授業評価の実施・評価体制が整っているか	A
⑥	授業評価がよりよい授業構成のために役立たされているか	A
⑦	中・長期的視野に立ち、授業計画がなされているか	A
⑧	授業計画が明文化され、記録されているか	A
⑨	成績評価・単位認定は学則・細則・内規に準拠したものになっているか	A
⑩	資格取得の指導体制はあるか	A
⑪	教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか	A
[課題]		
・評価結果は良好ではあるが、学生の実態に合わせながら、カリキュラムや指導法などを見直していく必要がある。		
[今後の改善方策]		
・各種研修には積極的に参加し、指導に関する事例や学生対応などの情報交換を職員間で行っていく。 ・各学科の特色をふまえながら、新たな資格への取り組みについて再検討する。		

(4) 学修成果・・・就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	就職率の向上が図られているか	A
②	資格取得率の向上が図られているか	A
③	退学率の低減が図られているか	A
④	入退学者数とその推移を把握しているか	A
[課題]		
・取り組みとしては全項目A評価となったが、資格取得などの結果が完全であるとはいえない。		
[今後の改善方策]		
・資格について、レベルや内容についての見直しを行う。 ・学生のモチベーションを保っていくために、職員間で情報を共有しながら声掛けなどの対応をしていく。		

(5) 学生支援・・・進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	進路・就職指導に関する体制が整備され、機能しているか	A
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	A
③	学生への経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	A
④	保護者との適切な連携を図る機会が設けてあるか	A
⑤	卒業生への支援体制はあるか	A
【課題】 ・すべてA評価となっている。細かい点を確認しながら体制をさらに整えていく。		
【今後の改善方策】 ・卒業生や保護者との情報交換は重要であるため、今後も誠実な対応を心がける。		

(6) 教育環境・・・教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	教育上の必要性に充分対応できる教育施設であるか	A
②	IT 機器などの教育用設備が教育上の必要性に充分対応できるか	B
③	学外実習やインターンを支援する体制が整っているか	A
④	危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか	B
【課題】 ・②については、この1年間で大幅に環境の改善を行った。トラブルなく安心して活用できるよう、さらに環境を整えていく。		
【今後の改善方策】 ・機器の不具合等については、早期に原因を探る。解決不可能な場合は、予算等の総合的な観点から検討する。 ・④については、危機管理マニュアルを活用し定期的に災害時の対応確認の機会を設ける。		

(7) 生徒募集・・・生徒募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	生徒募集活動は適正に行われているか	A
②	就職率や資格取得率など、教育成果の情報提供が適切に行われているか	A
③	入学選考は適正かつ、公平な基準に基づいているか	A
④	学生納付金は妥当なものとなっているか	A
【課題】 ・全項目評価結果は良いが、募集について納得のいく成果は出ていない。		
【今後の改善方策】 ・募集について定期的に会議を開き、特にアピール活動の点で新たな工夫を見出していく。 ・合格状況や進路状況の情報共有を行い、速やかに広報活動を行う。		

(8) 社会貢献／地域貢献・・・社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか	A
②	地域や、高校、中学などを対象に公開授業や出張講座を行っているか	A
③	学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか	A
[課題]		
・特に大きな問題はないが、社会貢献という観点から新たな取り組みを検討していきたい。		
[今後の改善方策]		
・校外活動について、学生の学びにつながるような活動の場を積極的に提供する。		

(9) 財務・・・財務状況、監査、財務状況の情報公開

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
③	財務についての会計監査が適正に行われているか	A
④	財務情報公開の体制整備はできているか	A
[課題]		
・財務については的確に会計監査を受けており現状大きな問題点はない。		
[今後の改善方策]		
・今後も、財務情報の公開など適切な対応を行っていく。		

(10) 法令等の遵守・・・法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
④	自己評価の結果を公表しているか	A
[課題]		
・現状大きな問題はないが、①や③において評価を継続していくためには情報の共有が必要である。		
[今後の改善方策]		
・設置基準等について職員への周知を行い運営に関する再確認を行う。		
・自己評価について、会議の中で結果の公表を行い、問題点の詳細について確認し改善策を検討する。		